

# 第4回電磁界情報センター運営委員会 会でのご意見への対応

## 電磁界情報センター

2010.3.30 第5回運営委員会

	前回いただいたご意見(概要)	対処方針(案)	対応資料
1	予算や人的資源の制限があるので、できることから着実に実行すべきである。	業務の優先順位付けを行い、平成22年度中期業務計画に反映した。	5-8
2	予算および執行実績を、業務内容(項目)ごとに記載すべきである。	資料に反映した。ただし、個人名の記載があるため、非公開資料としたい。	5-3
3	地方紙掲載記事(平成21年3月7日)への対応結果の公開について検討が必要である。	対応結果をホームページで公開することとする。	5-4
4	学校教育者向けセミナーについては、理科教師による研究会活動などを利用すべきである。	当面は、日本学校保健会のルートを活用したい。	5-8
5	最新情報の収集・調査・発信を継続して実施すべきである。	継続実施中。	5-4
6	さまざまな発生源に関する磁界ばく露実態調査を実施すべきである。	準備不足のため、平成23年度以降の取り組み課題としたい。	5-8

	前回いただいたご意見(概要)	対処方針(案)	対応資料
7	根拠が不明確な著書や広告などへの対応も早めに実施すべきである。	平成22年度より取り組み開始予定。ただし、名誉毀損等への配慮が必要である。	5-8
8	参加者の課題解決につながるようなセミナー等の運営の工夫が必要である。	目的を明確にし、対象層を絞ってセミナー等を実施している。	5-4
		第三者による評価を実施し、次回運営に反映している。	5-7
9	磁界測定器貸し出し業務が必要である。	あらゆる発生源について、磁界測定方法が確立するまで業務保留としたい。	5-8
10	利害関係者間の調整だけでなく、利害関係者の資質育成も必要である。	情報の送り手を対象としたリスク・コミュニケーション研修を実施していく。	5-8
		利害関係者間調整業務は、平成23年度以降の取り組み課題としたい。	

	前回いただいたご意見(概要)	対処方針(案)	対応資料
11	磁界しゃへいグッズ等の効果検証のための予算を確保すべきである。	予算に限りがあるため、第三者機関との連携にとどめたい。	—
12	パンフレットは、一般市民の目線でのチェックが必要である。	専門家ネットワークを活用し、「わかりやすさ」の観点でのチェックを行った。	5-5
13	太陽光発電や燃料電池などについても、ホームページで取り上げるべきである。	太陽光発電については、ホームページに掲載予定である。	5-4
14	フォーラム評価のアンケートで、電磁界に対する回避行動の有無も聞く必要がある。	プロジェクト・チームで検討した結果、採用しないこととした。	5-7
15	フォーラムなどでは、労働安全に関する情報提供も必要である。	今後検討していく。	—
16	ニュースレターの記事のうち、わかりにくいものについては、記事の要約を記載すべきである。	第8号より試行。	配布資料